

## 高エネルギー加速器研究機構技術職員シンポジウム参加報告

統括技術長 町原秀夫

平成 24 年 1 月 11 日から 12 日にかけて国立大学、国立高専、大学共同利用機関の技術職員の技術の向上と活性化を目的に、高エネルギー加速器研究機構（KEK と略）・つくば市において 12 回目となる KEK 技術職員シンポジウムが開催されたので工学部技術部の最近のとりくみを発表するとともに、他大学等との情報交換を行いました。

本シンポジウムの参加者は約 60 名で、24 大学、4 高専、2 機構から参加があり、そのうち 14 大学高専・機関は初参加であると主催者から報告がありました。

シンポジウムのテーマは、①技術職員の在り方と組織化の役割、②技術職員の人員計画等についてという 2 つの柱で、各々の発表では、技術組織における業務内容の効率化、運営体制の整備、技術向上にむけた施策、技術の有効活用と後継者の育成、組織及び運営の評価をめざした各機関の状況が報告され、町原としてはこれからの組織運営に参考になる情報交換ができました。

### ○ 各機関の発表から

11 題の発表の中で、特徴的な内容や参考になると思われるものを以下に報告します。北見工大は嘱託職員を含め 36 名の組織で、職制や処遇、研修のとりくみは福井とよく似ていますが、専門技術の評価を内外に示すという意味で技術士をはじめとした資格取得を奨励しています。大規模大学の東北大は平成 21 年 3 月に全員が総合技術部に配置換えされ、技術部の運営委員会委員長は理事が務めています。組織は二元的配置となっていますが、工学部では平成 17 年に組織が発足して以降、自律的組織への移行と技術支援の強化を組織目標に挙げているようです。分析関係業務では企業から 1 件あたり 1 万円の委託費用を技術部の収入としていることや、教員科研費からの機器利用料徴収が可能になったと報告があり、それを原資として技術開発費を個人に 25 万円、グループには 50 万円の奨励金を出しているとのことでした。新規採用では法人試験と選考採用の二つの方法を取っており、組織の課題として技術職員のキャリアパスを論議しているとのことでした。構成員の 3 割を占める嘱託職員は 9 割以上がフルタイムとなっていて、定年後は研究室から離すことを条件にしているとの報告がありました。

KEK からの報告では、機構には技術部とか技術課はなく、一つの方針の下、400 名近い研究者と一体となって業務を進めていること、今後も業務報告・評価を研究者と一体となつて行うので技術者の組織は必要ないとしています。法人化後は公募制をとる専任技師をはじめとした新職位と給与表を採用し、業務を分担していくとのこと。今後の課題としては上位ポストの確保、定年延長とシニアスタッフの活用、人事交流などがあると報告がありました。

熊本大からは、第二期中期目標・中期計画の中で新しい教育研究支援体制構築を目的に、高度な専門技術の融合と技術支援の強化をめざすとりくみの紹介がありました。昨年 4 月から試行している組織では①学内で認知された組織、②海外研修を含めた研修制度充実、③施設公開やものづくり工房への協力を背景にした人材確保、分析依頼に応える体制づくりを行っていること。今後の課題としては「便利屋でいいのか」「技術屋としてのゆとり時間の確保」「優秀な人材確保」を挙げていた。

高専の状況報告では、①人事交流が行われていることから戻ったときに降格にならない工夫、②プロをめざすと同時に、人数がいないので「何でも屋さん」という他人の土俵でもある程度戦える技術者を

③高専機構という組織のため、特定の考え方のもとに簡単に技術組織が変えられる、などの興味深い報告がありました。

組織マネジメントを意識した取り組みを積極的に進めている広島大からは、組織を考える視点として役割、職性、人材育成、処遇の4点を挙げ、求められる技術支援を安定的に保証する体制づくりを一つ一つ固めることが重要であると報告されました。

意見交換会では、嘱託職員の業務と「残すべき技術」の継承について意見が交わされました。最後に主催者側から、「どの機関でも全学的視野に立った組織のとりくみや改革方向が進められているが、技術職員はその多様性から一つの業務領域として本当に定着しないのか、まだまだ蓄積が必要であり、それぞれの身の丈にみあった取り組みをさらに求めます」とまとめ、二日間の日程を終了しました。

## — プ ロ グ ラ ム —

北見工業大学技術部の現状について	北見工業大学 技術部・岡田 包儀
東北大学工学部技術部の組織と法人化以降の取り組み	工学部・工学研究科 系支援班・松崎 隆
技術支援センター発足までの経緯報告長岡技術大学	技術支援センター・遠藤 正義
KEK 技術組織の沿革	高エネルギー加速器研究機構・寺島 昭男
熊本大学工学部における新教育研究支援体制について	工学部 技術部・松本 英敏
シンポジウムアンケート結果について	高エネルギー加速器研究機構・山野井 豊
意見交換会、懇親会	
福井大学工学部の技術部組織と新規採用について	工学部技術部・町原 秀夫
舞鶴高専の現状報告と意識改革の取り組み	教育研究支援センター・眞柄 賢一
休憩&ポスター展示	
技術職員の在り方と組織化の役割について	広島大学 技術センター・勇木 義則
技術室の現状と学内における新たな取り組み	九州大学応用力学研究所 技術室・石井 大輔
沖縄高専における技術研修と人事交流について	沖縄工業高等専門学校 技術支援室・蔵屋 英介

